

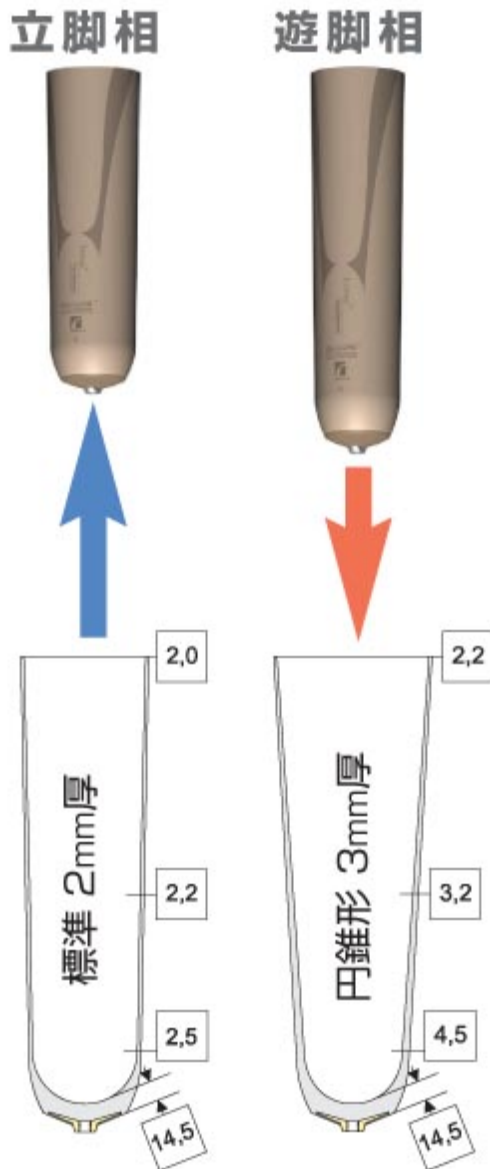
回旋への対処

大腿切断端は、柔らかで多量の軟部組織が大腿骨を包んでいることから、回旋が発生しやすくその対処は大腿義足ソケット製作上の課題といえます。現在、骨性のロックや筋形状の活用などにより、回旋への対処がなされています。また、懸垂用ベルトなどは回旋制御も目的に用いられています。

Icerossトランスフェモラルでは、従来の骨性や筋形状を利用した回旋制御に加え、ライナー自体の加工により回旋制御効果をさらに高めるよう設計されています。目的は前述のようなベルトやストラップの排除です。この加工をARCと呼んでいます。

Advanced Rotation Control 最先端の回旋制御

は文字通り、回旋を制御するためのIcerossの製品加工です。ライナーの表面の絵柄は滑り止めゴムでプリントされています。また、断端末部もゴム加工がされ、ライナーとソケット内壁との摩擦を高めています。



採型時のエロンゲーション

Icerossを使う上でエロンゲーション (Elongation=引き伸ばし) という言葉を聞かれると思います。これは採型時に断端を引き伸ばすことをさします。

Icerossをロックアダプターと組み合わせた場合、遊脚期に断端を引き伸ばす力が発生します。左図は極端な図ですが、実際に断端は遊脚相でわずかに長細くなります。

エロンゲーションにより予め遊脚相での断端の状態を再現することができます。このような状態で採型することで、ソケットは立脚遊脚とも内圧が確保でき、良好な適合を得ることができます。

Icerossトランスフェモラル製品特徴

現在、円筒形(標準型 左図)と円錐形(右図)の2種類の形状が選択できます。

サイズ

円筒形：25,28,32,36,40,45,50,55

円錐形：25,28,32,36

マトリックス：

ライナー全体に配し、大腿部軟部組織の縦方向の伸びをしっかりコントロールします。

素材：

硬めのデルモシル・シリコーンを薄く成型し、軟部組織を確実に安定化し支持性を高めます。